

平成28年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
海岸高潮対策事業	6	長島地区海岸	桑名市	②	<p>【全体事業概要】 堤防工 耐震補強(堤内)L=1,164m 耐震補強(堤外)L=1,398m 波返工 L=1,398m</p> <p>【事業目的】 当地区は、伊勢湾に面し、木曾川・揖斐川に挟まれた海拔ゼロメートル地帯で内閣府が指定した、南海トラフ地震防災対策推進地域です。 また、地質調査の結果、地震により液状化の危険性が高い地盤であることがわかりました。 このことから地震で堤防が崩壊・沈下した場合、その後の津波・高波浪・高潮により背後のナガシマリゾートや住宅等に甚大な浸水被害が想定されるため、本事業は「地震による堤防の崩壊・沈下を防ぎ、その後の津波・高波浪・高潮から背後の生命・財産を守る。」ことを目的としています。</p>	H19	4,319	84.3%	<p>【整備済み内容】 堤防工 耐震補強(堤内) L=684m 耐震補強(堤外) L=1,398m 波返工 L=938m</p>	<p>堤防背後の商業施設の入込客数は近年増加傾向で、長島地区の世帯数及び事業所数も増加傾向です。 また、平成26年度は、桑名市全域で大規模な避難訓練が実施されるなど、地域住民の防災意識は向上しています。 背後地の地域開発の状況は1964年にナガシマリゾート、1976年に長島スポーツランド、1998年に「なばなの里」の営業が開始され、2002年には伊勢湾岸自動車道の長島ICが供用開始、ジャズドリーム長島も開業するなど沿岸部の地域開発が進みました。また、1962年以降、宅地開発も進んでいます。</p>	<p>【費用対効果分析】 B/C = 9.6 【コスト削減】 当該事業は、基本的には鋼材の矢板を機械で打ち込む工事であるためコスト削減の余地はあまりございませんが、少しでもコスト削減を図るために地盤の状況に応じて工区分けを行い、適切な矢板形式及び矢板長を選定し、不要な鋼材を減らすことができ、コスト削減を図りました。 【代替案】 地震による液状化に対応できる工法が必要であり、他の工法として考えられる深層混合処理工法を比較しましたが、施工性や経済性だけでなく、周辺土壌や河川、地下水への影響を考えると、現在の工法である鋼材工法が優位と考えられますので、残事業についても鋼材工法で実施することを考えております。</p>	<p>引き続き事業の進捗を図り平成29年度の完成を目指します。</p>
						H29	-	-				

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

平成28年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	工事費	進捗率				
海岸高潮対策事業	7	長島港海岸	紀北町	③	<p>【全体事業概要】</p> <p>中ノ島地区 護岸補強 L=1,180m</p> <p>呼崎名倉地区 堤防補強・改良 L=1,030m</p> <p>離岸堤 L=300m(3基)</p> <p>西長島地区 堤防補強 L=743m</p> <p>陸闌改良 N=2基</p> <p>【事業目的】</p> <p>当海岸の既設護岸は、現地調査の結果、老朽化による損傷が著しいことから、高潮や高波浪等により護岸が破堤し、背後の人家密集地域が浸水により被害を受ける恐れがあります。</p> <p>そこで、当事業の目的は老朽化対策を行うことで、高波浪や高潮等による護岸の破堤を防ぎ、浸水を未然に防ぐことで、背後地の生命・財産を守ることです。</p>	H2	3,990	79.5%	<p>【整備済み内容】</p> <p>中ノ島地区 護岸補強 L=693m</p> <p>呼崎名倉地区 堤防補強・改良 L=1,030m</p> <p>離岸堤 L=300m(3基)</p> <p>西長島地区 堤防補強 L=743m</p> <p>陸闌改良 N=2基</p>	<p>防護区域は、依然として人家が密集しており、防護の必要性に変化はありません。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震の発生が危惧され、津波による甚大な被害が想定されるなか、平成27年8月には、紀北町全域で津波から避難する防災訓練が実施されるなど、防災意識は高まっております。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>中ノ島地区 B/C=21.0</p> <p>呼崎名倉地区 B/C=18.8</p> <p>西長島地区B/C=24.3</p> <p>全体 B/C=20.1</p> <p>【コスト削減】</p> <p>中ノ島地区において、一部の工事を海上工事から陸上工事に変更することで約2千5百万円のコスト削減が図られました。</p> <p>【代替案】</p> <p>中ノ島地区においては、地形条件、背後地条件等から、前出し護岸案が、もっとも経済的な工法であることから、代替案は考えられず、複数の前出し工法から選定された現計画で進めることが妥当であると判断しています。</p>	<p>引き続き事業の進捗を図り平成36年度の完成を目指します。</p>
						H36	-	-				

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業